

No. 1287

三人の巨匠

—ダリ・ピカソ・シャガール展—

サルバドール・ダリ、パブロ・ピカソ、マルク・シャガール。

20世紀絵画を代表するダリ、ピカソ、シャガールという個性豊かな三人の巨匠展が、東京、渋谷の東急デパートで開かれています。『美術の秋』に三人の巨匠の絵が約100点一堂に集められた豪華な展覧会とあって、連日満員、美術ファンに人気を呼んでいます。とくにダリの作品は日本での公開が14年ぶりということで最も人気。同展は今月20日まで。

北方領土

いまだ帰らぬ島々

北方領土返還要求北海道キャラバン隊が9月4日、全国各地を巡回の途中、総理府に稻村総務長官を訪問した。

キャラバン隊の飯沢克彦隊長がキャンペーン成功の決意を述べると総務長官は隊員ひとりひとりを握手で激励した。

北海道根室沖につらなる北方の島々。歯舞、色丹、国後、択捉、これら北方領土は我が國固有の領土である。

ノサップ岬。ここは北方の島々を追われた人々の望郷の地である。戦後33年経った今も、一日として島のことを忘れる做不到の人々が絶えない。昨年、ソ連が打ち出した200カイリ漁業水域の設定で漁民たちは水産資源の豊庫と云われる北方水域を追われた。そして領土問題もその帰属をめぐって、日ソ両国の意見対立が依然続き、北方領土はいまだ帰らぬ島となっている。キャラバン隊は静岡、伊勢、岐阜など各地を巡回し、厳しい北方領土問題のキャンペーンを展開した。

そして9月8日、最後の目的地、名古屋では「北方領土返還要求のつどい」に参加。キャラバン隊は熱烈な歓迎の中、北方領土早期返還を訴えた。これに対し、仲谷愛知県知事などが次々にあいさつに立ち、つどいは成功のうちに終った。北方領土は小笠原や沖縄が復帰した今日ではいまだ帰ってこないただひとつの貴重な国土。私たちの父祖が血と汗で開拓してきた北方領土。一日も早い返還が望まれる。